

令和8年度 第1回 山県市高齢者福祉計画策定委員会 議事要旨

【日 時】 令和8年8月7日（金）13:30～15:00

【場 所】 山県市役所本庁舎3F 会議室302

【委員等】 （構成員） 森田 直子 （中部学院大学人間福祉学部准教授）《会長》
二ノ宮三生 （山県市医師会代表）《副会長》
奥田 孝 （山県市歯科医師会代表）
大西 英樹 （山県市シルバー人材センター事務局長）
岡田 秋斗 （介護事業者代表）
小林美代子 （ボランティア団体）
山口きみ代 （山県市民生委員・児童委員代表）
丹羽 英之 （山県市老人クラブ代表）
丹羽由香里 （岐阜保健所健康増進課長）
奥村 浩康 （岐阜地域福祉事務所福祉課長）
宇留野公男 （山県市企画財政課長）
※欠席：丹羽由香里委員

（事務局） 武藤 達也 （山県市福祉課長）
辻 千津子 （山県市福祉課主幹）
森 正和 （山県市福祉課課長補佐）
川瀬 智美 （山県市福祉課主幹）
早矢仕美穂 （山県市福祉課係長）
山口 和孝 （山県市南部地域包括支援センター管理者）
長屋麻友美 （山県市北部地域包括支援センター管理者）
村山 洋志 （アトリエゆまあひチーフプランナー）

- 【次 第】 1. 開会
2. あいさつ
3. 委員長・副委員長の選出
4. 委員長・副委員長あいさつ
5. 協議事項
（1）山県市高齢者福祉計画の法的位置付けと策定について（資料1）
（2）山県市の高齢者の現況等（資料2）
（3）アンケート調査報告書（資料3）
（4）第9期山県市高齢者福祉計画の指標評価一覧（資料4）
（5）〔参考提示〕計画骨子（イメージ案）（資料5）
（6）今後のスケジュールについて（資料6）
6. その他
7. 閉会

■ 開会（進行：辻千津子山県市福祉課主幹）

■ あいさつ（武藤達也山県市福祉課長）

〔事務局より〕丹羽由香里委員が欠席の旨、出席11名により委員会が成立した旨の報告。

■ 委員長・副委員長の選出

○会長・副会長選任に当たり、議事が多いことから事務局案を提示することを承認頂いた上

で、会長：森田直子委員、副会長：二ノ宮三生委員を提示、拍手をもって承認。

■ 会長・副会長あいさつ

〔以降、森田委員長による進行〕

■ 議事



○森田委員長 それでは協議事項に移ります。資料１について事務局から説明をお願いします。

～事務局より説明（資料１）～

山県市福祉課課長補佐 森正和

○森田委員長 ご意見・ご質問があればお願いしたい。無いようなので、次の資料２について事務局から説明をお願いする。

～事務局より説明（資料２）～

山県市福祉課課長補佐 森正和

○奥田委員 在宅サービスが多いが、これは希望なのか。家族は施設に入れたいと思っていると思うが。

○事務局 介護サービスは、本人・家族の意向を聞いてケアマネが決定するが、コロナ禍があったことで「在宅でもできるのではないか」と考える人も増えたと考えられる。

○二ノ宮副委員長 今後どういうサービスを増やしていくかという点で、計画に非常に関係があると思うが、訪問介護と訪問看護が増えていて施設入所がちょっと減っている。全国的に住宅型有料老人ホームが増えていて、住宅型有料老人ホームに入りながら訪問介護や訪問看護を使っているケースだと思われる。その点が見えにくくなっているのではないかと思います。実態として本当に訪問介護や訪問看護の利用者の何割ぐらいが住宅型有料老人ホームに入居しているのか。有料老人ホームに移る人は絶対増えたらいいと思うが実態はどんな感じなのだろうか。

○岡田委員 山県市にはサ高住などは少ない。特定の法人が訪問介護事業所を立ち上げて、法人が経営している有料老人ホームやサ高住にサービスを提供しているケースは聞いたことがある。

○山口管理者 １割にも満たないのではないかと感じるが、割合は分からない。実態としては独居の高齢者が増えているので、足がなくて買物に困る、ヘルパーさんが買物支援に入るなどもあると思う。また、少し認知症が出てくると、内服の管理が難しくなるので、訪問介護への依頼が多くなってくるのではないかと思いますという肌感覚はある。

○長屋管理者 北部では、国保の方が多く、年金を絡めて考えると、有料老人ホームを選択しにくいということもあると思う。また、最近は施設入所を相談として受けることが少ない気はする。

○二ノ宮副委員長 サ高住はあくまで住宅であり、在宅ということ。独居高齢者がサ高住に入居し

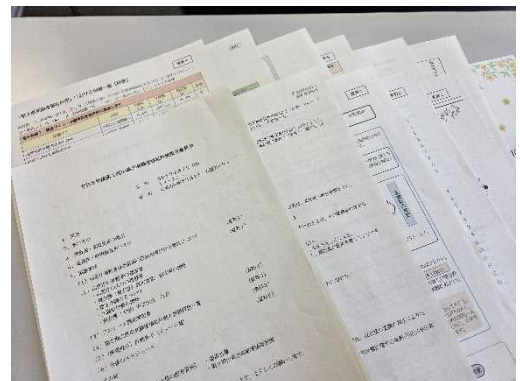
ていきいきとされた例もある。

- 奥田委員 山口市は認定率が低いがそれはなぜか。
- 事務局 山県市民は我慢強い人が多い。要介護度3～5が多い。突然要介護3になる例が多い。すぐに認定を受ける人は少ない。
- 山口管理者 過疎地域の方々はギリギリまで我慢されるケースが多い。入所したくないという人もいる。
- 大西委員 確かにギリギリまで我慢するのが実感ではある。
- 森田委員長 それでは次の協議事項に移ります。資料3について事務局から説明をお願いします。

～事務局より説明（資料3）～

アトリエゆまあひチーフプランナー 村山洋志

- 森田委員長 ご意見・ご質問があればお願いします。
- 二ノ宮副委員長 膨大なアンケート調査、分かりやすく驚いたのだが、糖尿病が介護につながるというのはどのような状態なのか、少しいメージができていない。高齢になってから急に糖尿病が悪化するというのは通常ありえない。
- 事務局 九州大学の久山町研究を山口市にもあてはめてみたことがあるが、糖尿病の人は認知症の人が多いということがあった。やはり関係があるのではないかと感じている。
- 森田委員長 山口市としては、アンケート調査の中でどのような点に注目されているのか。
- 事務局 アンケート調査結果は、次期計画に活かしていきたいと考えているが、どこにどう活かしていくかはこれから検討し、次回の委員会にてお話しさせていただきます。
- 山口委員 糖尿病と認知症の関係についてだが、認知症が進んでいる知り合いの人がスーパーで果物とか甘いものを大量になっているのを見たことがある。
- 森田委員長 食生活のセルフケア、コロナ禍のコントロールというのは大事なことで、その意味では見守りがあるのとないのでは大きく異なる。
- 大西委員 在宅介護実態調査についてだが、「介護」というのは「実際に行う」意味での「介護」なのか、一緒に住んでいない親子関係だと「実際に行う」ことはできない。そこをどう区別をつけていくのか分からない。
- 事務局 在宅介護実態調査もニーズ調査も国が指定しているアンケートであり、文章も選択肢も全国共有のものとなっている。大西委員ご指摘のような点で追加質問することは可能だが、いかんせん質問数が多いと指摘されているところでもあるので、今後の課題として検討させていただきます。
- 小林委員 独居高齢者の見守りボランティアをしている。あるお宅では、息子さんに1週間に1回程度買物に連れて行ってもらうのだが、出て行かないとどうしても人との接触がない。やはり人と会って話をすることが大切ではないかと思う。



- 森田委員長 資料の58ページ以降に、地域での活動の参加が減っているという結果になっているが、そういう現状についてどのように感じておられるか。
- 丹羽委員 高齢になるほど外出や地域活動への参加が億劫になってくる。60歳代はまだ少し外に出るが、それ以降は難しくなってくる。
- 森田委員長 ということは、誰かに来て欲しい、訪問して欲しいという潜在ニーズがあるのではないかと理解した。
- 大西委員 わざわざ特定の団体に入って行動したいという気持ちにはならないので、そういう人が増えていくとは思う。
- 岡田委員 幸福度が低くなっているということだが、アンケートの他の質問との関係性はあるものだろうか。美山で幸福度が高くなっているの、地域性なども関係するのではないかと感じている。
- 事務局 そのような仮説はできると思うが、特定の質問との関連性を証明することは難しい面がある。因果関係は分からなくとも、地域全体としての幸福度が上がったのであれば、政策全体としては良い方向に進んでいるのではないかと推測できるので、そういった観点から今後の政策を講じるための参考指標にはなると考えられる。
- 森田委員長 質疑は尽きないが、次の議事に進ませて頂く。資料4について事務局より説明をお願いします。

～事務局より説明（資料4）～

山県市福祉課係長 早矢仕美穂

- 森田委員長 第9期計画の評価について何か質問はあるか。
- 奥田委員 さわやか口腔健診の受診率が低下している。さわやか口腔健診については、自己負担が300円だったが、これを歯科医師会で持つということで自己負担0円でやっていた。当初受診率が16%ということで県内で一番高かったが、自己負担300円を必ず取れとなったことと、高齢者は2～3年するとやる人が少なくなってくる。本来受ける必要がある人に届いていないのが現状であり、多くの人に受けてもらえる環境と整えていきたい。
- 二ノ宮副委員長 さわやか口腔健診の受診率は100%が望ましいが、なぜ目標値が20%なのか。
- 事務局 さわやか口腔健診には特に規定はないが、実績値から目標値を算定しているものと思われる。
- 森田委員長 それでは最後の議事に移らせて頂く。資料5について事務局より説明をお願いします。

～事務局より説明（資料5）～

山県市福祉課課長補佐 森正和

- 森田委員長 基本理念は継続で宜しいと思う。
- 岡田委員 事業者連絡協議会は、約50事業所が集まった任意の団体だが、昨年から年2回の研修を行い、介護の現場、山県での課題について意見交換を行った。課題としては3つあり、一つ目が「移動手段」についてで、高齢者の買物、通院の課題。二つ目が「人材育成」についてで、ケアマネが不足しているという課題。三つ目が「ICT」である。そういった点も含めて検討して頂きたい。

○森田委員長 それでは最後に、資料6について事務局より説明をお願いします。

～事務局より説明（資料6）～

山県市福祉課課長補佐 森正和

○森田委員長 10月開催の次回委員会に向けて資料の作成に努めて頂きたい。本日の議事はすべて終了したので、事務局にお返しする。

○事務局 次回の委員会は10/28（水）を予定しているので、宜しくお願いします。それではこれにて本日の委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。

■閉会 （終了 15:00）